

審議事項（1）

市内路線バス無料乗車券配布事業の実施について

＜審議内容＞

物価高騰の影響を受けたバス事業者や市民を支援するため、未成年や高齢者を対象に市内路線バスの無料乗車券を配布する。（無料対象期間：R5. 9. 1～R5. 10. 31）
無料乗車券使用によるバス事業者の運賃減収分は、市が負担する。

1 経緯

市内の路線バスについては、コロナ禍の影響を受け、一時的に大きく利用者が減少したほか、昨今の物価高騰や運転手不足の問題もあり、バス事業者の経営は厳しい状況にある。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、市民の外出需要も高まるなか、路線バスの利用促進とともにバス事業者を支援する策として、交通弱者である未成年や高齢者を対象に市内路線バスの無料乗車券を配布する事業を実施したい。

（※前回の会議で審議いただいた「新高校生に対するお試し乗車券付きリーフレットの配布事業」とは別で、市独自の事業になります。）

2 事業目的及び効果

- ・路線バスの利用を促進するとともに本事業に関する協力金を支給することで、物価高騰の影響を受けた事業者の経営を支援する。
- ・路線バスの新規利用者を掘り起こし継続的な利用に繋げることで、市内公共交通の維持・活性化を図る。
- ・物価高騰の影響を受けた子育て世帯や高齢者を支援する。

3 無料乗車券の配布対象者

配布対象者	予定人数	配布方法
市内の小学生	2,405人	学校を通して配布
市内の中学生	1,337人	学校を通して配布
市内の高校生等（15～18歳）	1,196人	郵送
坂東清風高校生徒	410人	学校を通して配布
高齢者（75歳以上）	8,520人	敬老祝品と併せて配布
合計	13,868人	

4 無料対象路線

種 別	系 統
茨城急行自動車バス	岩井車庫～野田市駅
関東鉄道バス	岩井バスターミナル～守谷駅西口（急行坂東号・直行坂東号）、 ミュージアムパーク茨城県自然博物館～守谷駅西口
昭和観光自動車バス	西坪生子線（境ルート）、清水丘内野山線（岩井ルート）
コミュニティバス 坂東号	庁舎間シャトル、七郷・中川ルート、沓掛・内野山ルート、 長須・七重ルート、矢作ルート、半谷ルート

※運行経路に坂東市内を含むすべての路線バスが対象

5 無料乗車券の仕様

- ・配布対象者に、無料乗車券3枚付きのチラシを1人1枚配布する。
- ・無料乗車券1枚につき、1乗車1名が無料とする。ただし、市外に跨る路線については、乗車地と降車地のいずれかが坂東市内である場合に限る。
- ・無料乗車券は配布対象者本人のみが使用できるものとする。ただし、配布対象者が小学生の場合は、保護者も1名に限り無料で乗車できる。
- ・コピー等、複製した無料乗車券は使用不可とする。
- ・無料乗車券の裏面に簡単なアンケートを記載し、その回答を記入することを利用条件とする。
→ 運賃減収分の金額算出に必要となるため、乗降するバス停名を回答する欄を設ける。その他事業の効果検証等に必要となる設問も記載する。

6 無料乗車券の使用方法

- (1) 茨城急行自動車バス・関東鉄道バス（対キロ区間制運賃）の場合
 - ①バス乗車前に、無料乗車券裏面のアンケートの回答を記入する。
 - ②バス乗車時に、整理券を取る。（整理券により乗車地を確認）
 - ③バス降車時に、整理券と無料乗車券を運賃箱に入れる。
- (2) 昭和観光自動車バス・コミュニティバス（均一制運賃）の場合
 - ①バス乗車前に、無料乗車券裏面のアンケートの回答を記入する。
 - ②バス乗車時に、無料乗車券を運賃箱に入れる。

7 実施期間（無料対象期間）

令和5年9月1日（金）～10月31日（火） ※2か月間

8 事業費

927万6,000円（見込額）

※財源は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援助地方交付金）を充てる。

※無料乗車券の利用状況によって運賃減収分の負担額が変わるので、上記事業費は見込額として算出。

9 その他

- ・無料乗車券使用によるバス事業者の運賃減収分は市が負担する。
- ・本事業に協力いただくバス事業者には、運賃の補填とは別に協力金を支給する。
- ・更なる利用促進策として、茨城県を舞台にした漫画『茨城ごじゃっぺカルテット』（著者は坂東市出身の豚もう氏）とタイアップしたPRを行う。